

事業目的・概要

生物多様性基本法第13条に基づき策定した生物多様性・塚戦略に基づく各種施策を実施することにより、生態系、種、遺伝子の3つのレベルの多様性を確保するとともに、生物多様性保全に体系的に取り組むことにより、生物多様性に配慮したまちづくりを推進。平成30年度は、生物多様性Webサイト「塚いきもの情報館」による情報発信、小学校での生き物調査授業や各種イベントでの啓発活動等、これまでの取組を促進していく。また、近年問題になっている外来生物の発生初期段階での緊急対策及び生息分布状況の把握等を行う。

取組内容

生態系への影響や生活被害等により問題になっている外来生物について、市内への侵入・定着による市民生活への影響を防止する取組を行う。

◆ ヒアリ、アカカミアリ(以下、「ヒアリ等」という。)への対応

ヒアリ等が市内で確認された場合に、緊急防除対策(駆除・調査)を実施し、市民等に対し注意喚起・情報提供を行う。また、必要に応じてモニタリングを行う。

◆ クビアカツヤカミキリへの対応

市内での発生がすでに確認されている同昆虫について、生息分布調査を実施し、市民等に対し注意喚起・情報提供を行う。

※クビアカツヤカミキリは平成29年度に特定外来生物として新たに指定



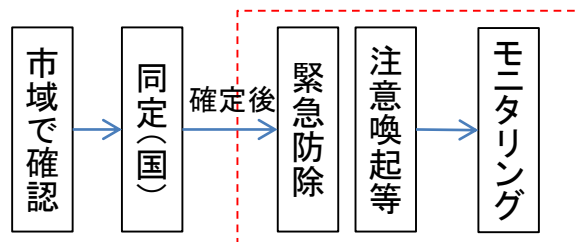
ヒアリ(環境省HPより)



クビアカツヤカミキリ

事業スキーム

◆ ヒアリ等



◆ クビアカツヤカミキリ

